

研究活動の変遷 (1989~2014年)

IX. 学会での活動

『人口問題研究所創立五十周年記念誌』は、学会活動として日本人口学会と国際人口学会をとりあげた。実際に人口分野の研究者にとってこの二つの学会の重要性は際立っており、ここでもこの二つに限定して記述することとする。

1. 日本人口学会

旧厚生省人口問題研究所および現国立社会保障・人口問題研究所（以下「研究所」）と日本人口学会との関連は深く、2004年に事務局がエイジング総合研究センターに移るまでは、研究所が事務局機能を果たしてきた。また日本人口学会が会員300人程度の小規模な学会である上に、研究所が日本の人口学研究の中心的役割を果たしてきたことから、学会における研究所のプレゼンスは大きく、理事会の半数以上が研究所の職員と元職員で占められることも珍しくない。表IX-1に示したように、阿藤誠元所長と高橋重郷元副所長が在職中に会長をつとめたが、河野稠果元所長も退職後の1998年度に会長をつとめた。岡崎陽一元所長、濱英彦元部長、河邊宏元部長、山口喜一元部長、高橋眞一元資料課員、稲葉寿元室長らも1989~2014年のあいだに理事をつとめたが、いずれも退職後でこの表には含まれていない。

前述のように2003年度までは研究所が学会事務局機能を果たしており、表IX-2に示すように研究所職員が事務局長及び幹事として活動した。2002年度以後は、事務局長という肩書きは理事会名簿から消えている。事務局がエイジング総合研究センターに移った2004年以後は、幹事は各委員会に所属するのみで理事会名簿には出なくなった。表IX-3に示したように、小島宏元部長と金子隆一副所長が在職中に編集委員長をつとめたが、廣嶋清志元部長、佐藤龍三郎元部長は退職後に編集委員長をつとめた。表IX-4に示すように在職中の大会企画委員長は阿藤誠元所長、高橋重郷元副所長、佐藤龍三郎元部長だが、稲葉寿元室長は退職後に委員長をつとめた。いずれの委員会にも多くの研究所職員が所属し、さらに表に含まれない元職員の貢献もあった。

創立五十周年記念誌には、日本人口学会創設（1948年）以後40年間に大会で報告された研究所職員による269本の研究報告が列挙されている。これに対し、1989~2014年の25年間における職員の研究報告は、それを大幅に上回る304本にのぼる（表IX-5）。また五十周年記念誌によると、学会誌『人口学研究』第11号（1989年5月刊行）までに掲載された研究所職員の論文は9本だったが、第12号（1990年5月）から第49号（2013年6月）までに20本の論文・研究ノートが掲載された（表IX-6）。学会全体および研究所職員による研究活動がそれだけ活発になったためと思われる。

日本人口学会賞は1988年に創設され、稲葉寿元室長が第1回の学会奨励賞を受賞した。第2～14回の研究所職員の受賞者は、表IX-7のとおりである。このうち伊藤達也元部長は、1993年9月に逝去された後に学会特別賞を授与された。他は研究所在職中の受賞だが、退職後に研究所以外の所属で受賞したためこの表から省いた受賞者としては、大谷憲司元研究員（1990年学会賞）、山口喜一元部長（1996年学会賞）、若林敬子元室長（1998年奨励賞）、岡崎陽一元所長（2000年学会特別賞）、稲葉寿元室長（2004年学会賞）、河野稠果元所長（2010年学会特別賞）、阿藤誠元所長（2014年学会賞、学会特別賞）らがある。また林玲子部長は、研究所に入る前の2010年に優秀論文賞を受賞した。

表IX-1 研究所在職者の日本人口学会理事及び監事への就任

年度	氏名
1988～89年度	河野稠果, 阿藤誠, 廣嶋清志
1990～91年度	河野稠果, 阿藤誠, 廣嶋清志
1992～93年度	河野稠果, 阿藤誠, 金子武治
1994～95年度	阿藤誠, 廣嶋清志, 金子武治
1996～97年度	阿藤誠, 金子武治
1998～99年度	阿藤誠, 小島宏, 高橋重郷, 金子武治
2000～01年度	阿藤誠, 小島宏, 高橋重郷
2002～03年度	阿藤誠, 加藤久和, 小島宏, 佐藤龍三郎, 高橋重郷, 西岡八郎
2004年度	阿藤誠*, 加藤久和, 佐藤龍三郎, 高橋重郷
2005年度	阿藤誠*, 佐藤龍三郎, 高橋重郷
2006～07年度	小島宏, 高橋重郷
2008～09年度	金子隆一, 佐藤龍三郎, 西岡八郎, 鈴木透
2010～11年度	高橋重郷*, 金子隆一, 佐藤龍三郎, 西岡八郎, 鈴木透
2012～13年度	石井太, 岩澤美帆, 金子隆一, 鈴木透, 小池司朗
2014年度	石井太, 岩澤美帆, 鈴木透, 林玲子, 小池司朗

*会長

表IX-2 研究所在職者の日本人口学会事務局長及び幹事への就任

年度	氏名
1988～89年度	金子武治*, 小島宏, 大谷憲司, 山本千鶴子, 大場保, 鈴木透
1990～91年度	金子武治*, 山本千鶴子, 大場保, 鈴木透
1992～93年度	大江守之*, 才津芳昭, 小島克久
1994～95年度	西岡八郎*, 池ノ上正子, 小島克久, 今井博之
1996～97年度	渡辺吉利*, 佐々井司, 清水昌人
1998～99年度	佐藤龍三郎*, 岩澤美帆, 白石紀子
2000～01年度	加藤久和*, 江崎雄治, 佐々井司, 三田房美, 鈴木透, 千年よしみ
2002～03年度	佐々井司, 三田房美, 鈴木透, 千年よしみ, 白石紀子, 守泉理恵

*事務局長

表IX-3 研究所在職者の日本人口学会編集委員会委員（幹事を含む）への就任

年度	氏名
1988～89年度	清水浩昭, 高橋重郷, 廣嶋清志, 阿藤誠, 大谷憲司, 小島宏
1990～91年度	小島宏, 高橋重郷, 廣嶋清志, 阿藤誠, 河野稠果, 金子武治
1992～93年度	小島宏, 廣嶋清志, 大江守之
1994～95年度	小島宏, 廣嶋清志, 阿藤誠, 西岡八郎
1996～97年度	阿藤誠, 小島宏, 高橋重郷, 渡邊吉利
1998～99年度	阿藤誠, 佐藤龍三郎, 高橋重郷
2000～01年度	小島宏*, 加藤久和, 佐藤龍三郎, 鈴木透, 千年よしみ
2002～03年度	小島宏*, 加藤久和, 佐藤龍三郎, 鈴木透, 千年よしみ
2004～05年度	小島宏, 鈴木透, 高橋重郷, 西岡八郎
2006～07年度	小島宏, 鈴木透, 西岡八郎
2008～09年度	金子隆一*, 佐々井司, 守泉理恵
2010～11年度	金子隆一*, 佐々井司, 別府志海
2012～13年度	岩澤美帆, 釜野さおり, 白石紀子
2014年度	岩澤美帆, 釜野さおり, 中川雅貴

*委員長

表IX-4 研究所在職者の日本人口学会大会企画委員会委員（幹事を含む）への就任

年度	氏名
1988～89年度	阿藤誠*, 花田恭, 高橋重郷, 河野稠果, 金子武治, 大場保
1990～91年度	阿藤誠*, 伊藤達也, 河野稠果, 金子武治, 大場保
1992～93年度	阿藤誠, 府川哲夫, 高橋重郷, 河野稠果, 大江守之
1994～95年度	阿藤誠, 高橋重郷, 大江守之, 西岡八郎
1996～97年度	阿藤誠, 高橋重郷, 大江守之, 佐藤龍三郎, 渡邊吉利
1998～99年度	阿藤誠, 高橋重郷, 小島宏, 佐藤龍三郎
2000～01年度	佐藤龍三郎, 阿藤誠, 小島宏, 加藤久和
2002年度	阿藤誠, 小島宏, 西岡八郎
2003年度	阿藤誠, 加藤久和, 小島宏, 西岡八郎
2004～05年度	高橋重郷*, 佐藤龍三郎, 守泉理恵
2006～07年度	金子隆一, 佐藤龍三郎
2008～09年度	佐藤龍三郎*, 別府志海
2010～11年度	岩澤美帆, 三田房美
2012～13年度	石井太, 鈴木透, 鎌田健司
2014年度	釜野さおり

*委員長

表IX-5 研究所在職者の日本人口学会大会報告での報告

回次・年月	氏名	演題
第42回 1990年 6月	石川 晃 西岡八郎 坂井博通 伊藤達也 鈴木 透 渡邊吉利 高橋重郷	女子の結婚および出生構造の動向 メキシコの出生力とその性格—人口政策との関連で— 子供の人口学的状況の変化 世帯形成行動に関する指標—世帯主率で測る家族制度— 社会的通婚の計量法 人口学的事象による生活段階の変化—世代と学歴によるその変化— 死亡および結婚の変化とライフサイクル変数の変動—結婚の多相生命 表モデルによる分析—
	若林敬子 小島 宏 清水浩昭 伊藤達也 河野欄果 大場 保ほか 金子隆一 渡邊吉利 坂井博通 鈴木 透 廣嶋清志 大江守之 高橋重郷	中国における人口流動“盲流”—就学生・偽装難民流出の背景— 人口政策としての外国人労働者受け入れ—フランスの事例を中心として— 家族構成から見た出雲と石見の地域特性 青年の居住行動 出生力転換について 先史人口集団の拡散過程のマイクロシミュレーション わが国初婚行動の人口学的分析 都道府県別未婚率およびSMAM推移 家族構造が結婚年齢に与える影響 結婚と世代間関係に関する規範意識の構造 合計死亡率などの合計動態率について 小地域人口推計方法の改良 最近の死亡変動と人口高齢化：とくに死因別死亡の動向を考慮して
第43回 1991年 5～6月	阿藤 誠 高橋重郷 渡邊吉利 大江守之ほか 石川 晃 大場 保 鈴木 透 大場 保ほか 廣嶋清志 山本千鶴子 小島 宏 河野欄果	出生率低下への政策的対応 人口学的観点から 日本人の構造変動—年齢，結婚，教育，世帯— 人口移動と地域人口の動向 地域出生力構造の変動 死亡発生時のスペクトル解析 親族数分布に関する解析的モデル 先史人口集団の拡散過程の人口学的シミュレーションモデル（応用例） 最近の親子同居の動向 山形県・鹿児島県の平均世帯主余命等の比較 人口政策としての国際移動者の統合 出生力転換について
	小島 宏 西岡八郎 金子隆一 稲葉 寿 鈴木 透 大江守之 廣嶋清志 中川聡史 山本千鶴子	アフリカ人口の出生力 家族形成過程における出生行動の分析—沖縄本島南部地方の例を中心— 年齢別出生率の推計システム 初婚によって再生産される人口のモデルとその応用 きょうだい数を用いた安定人口増加率の推計方法について 世帯主のコーホートに着目した家族類型別世帯数推計手法 高齢者の世帯状態の将来推計 年齢（5歳階級）別にみた東京大都市圏の人口移動と居住パターン変化 単身生活者の動向—1980年および1990年の比較—
第44回 1992年 6月	阿藤 誠 小島 宏 中川聡史 石川 晃 廣嶋清志・三田房美 稲葉 寿 西岡八郎	持続可能な開発と人口抑制 わが国結婚の動向と特質 地域的視点から わが国における法律婚と事実婚 都道府県別出生率格差の分析 エイズと人口学 地域間人口移動パターンの特性—Uターン，Jターン，Iターンの属 性別分析—
	渡邊吉利 阿藤 誠 大江守之 小島 宏 渡邊吉利	日本人の生活段階と直系尊属数 日本人の動向と地域 地域政策—高齢化と人口再生産— 家族政策の視点から コーホートでみた出生・死亡の戦後半世紀の変動
第45回 1993年 6月		
第46回 1994年 6月		
第47回 1995年 6月		

表IX-5 研究所在職者の日本人口学会大会報告での報告（つづき）

回次・年月	氏名	演題
第48回 1996年 6月	三田房美	都道府県間人口移動の動向分析
	中川聡史	バンコク郊外地域における都市化と居住者の移動歴
	小島克久	有配偶女子の就業構造
	大場 保	死亡発生頻度時系列へのスペクトル解析の適用
	金子隆一	近年の晩婚化、晩産化の要因に関する人口学的分析
	廣嶋清志	大都市地域の出生率の分析—結婚年齢の分析—
	今井博之	パッツ=ウォード型モデルによる日本の出生力分析
	大江守之	地球変化と今後の地域人口研究
	小島 宏	わが国における人口妊娠中絶の規定要因
	阿藤 誠	先進諸国の低出生率問題～価値観変動仮説の再検討
第49回 1997年 6月	廣嶋清志・三田房美	世帯の継承・発生・合併～第3回世帯動態調査から
	佐々井 司・山本千鶴子	親と子の同・別居～第3回世帯動態調査から
	鈴木 透	分岐過程にもとづく親族モデル
	金子隆一	人口学モデル研究の展開
	佐藤龍三郎	人口・開発・人権・倫理—人口論の新たな展開？—
	阿藤 誠	地球人口と文明の行方
	高橋重郷	結婚の人口学的変化
	鈴木 透	結婚の変化と世帯構成
	小島克久	我が国の世帯構造の地域性
	府川哲夫	傷病別死亡率とその高齢化への影響
第50回 1998年 6月	中川聡史	統一ドイツの人口問題に関する研究動向—人口移動と女性の就業を巡って—
	今井博之	都道府県間出生力較差の分析—女子の時間配分の観点から—
	小島 宏	トルコにおける有配偶女子の就業と出生
	佐藤龍三郎	日本の人口学50年—医学・保健学的立場から
	岩澤美帆・三田房美・金子隆一	夫婦の結婚行動と意識
	佐々井 司・池ノ上正子・高橋重郷	夫婦の出生行動と意識
	新谷由里子・佐藤龍三郎・渡辺吉利ほか	妻の就業・保育環境と出産・子育て
	今井博之	都道府県間出生力格差の多角的検討
	鈴木 透	世帯変動の要因分析
	府川哲夫	寿命の伸びとその医療費への影響
第51回 1999年 6月	中川聡史	人口移動と人口分布変動
	清水昌人	近年の人口移動理由
	西岡八郎	わが国における離家と人口移動
	阿藤 誠	ジェンダーの視点から見た日本人の人口転換
	岩澤美帆	マルサス人口論における結婚制度
	小島 宏	人口研究におけるフォーカス・グループの可能性
	佐々井 司	日本における夫婦出生タイミングの変化とその要因
	岩澤美帆・金子隆一	未婚青年層の結婚意欲とその決定構造
	今井博之・金子能宏	子育て支援策と出生力
	高橋重郷	日本の出生力はどこまで下がるか—形式人口学的視点から
第52回 2000年 6月	小島 宏	日本の出生力はどこまで下がるか—家族政策・労働政策の視点から
	鈴木 透	高齢者の世帯動態
	大場 保	独立でない場合の Net Probability of Dying by Specific Cause
	西岡八郎・清水昌人ほか	地方都市をめぐる人口移動—経済変動との関連で：釧路市の例—
	佐藤龍三郎	「人口」概念の再検討—なぜ「人口現象は社会科学と自然科学の橋渡し」といえるのか—
	佐藤龍三郎	リプロダクティブ・ライツか人口抑制か
	加藤久和	情報化時代の人口統計—人口統計の利用者の立場から
	阿藤 誠	少子化傾向の是正は必要か？—社会人口学の立場から
	小松隆一	HIV/エイズが人口に与える影響
	清水昌人	転勤移動者の属性分析
西岡八郎	家族の新しい形：その構造と機能	

表IX-5 研究所在職者の日本人口学会大会報告での報告（つづき）

回次・年月	氏名	演題
第53回 2001年 6月	佐藤龍三郎	人口をめぐる政策と倫理：「人口政策」論再考
	小島 宏	宗教と出生政策
	金子隆一	人口動態モデルの新次元を探る
	鈴木 透	両性人口モデルによる結婚市場の分析
	石川 晃	人口移動と両性を考慮した安定人口モデル
	加藤久和ほか	少子化と日本経済(1)：置換水準を回復した場合の将来推計人口
	加藤久和ほか	少子化と日本経済(2)：長期モデルによる将来展望
	今井博之	少子化の動向と子育て支援策：保育サービス供給コストの視点から
	鈴木 透	人口減少社会の親族資源
	金子隆一	初婚過程のコホート変化と出生力低下
第54回 2002年 6月	千年よしみ	マレーシアにおける新経済政策と人口移動—マレー系と日マレー系の比較—
	岩澤美帆	意図せざる妊娠の数量分析
	小島克久	高齢者の所得格差
	加藤久和	経済成長と労働市場
	高橋重郷	個人のライフサイクルと家族の変貌
	佐藤龍三郎	現代の人口政策：研究の枠組みについて
	白石紀子・佐藤龍三郎	日本の「少子化」問題に関する研究の動向—政策評価の視点から—
	今井博之	乳児の母親に注目した出生力分析
	小島 宏	イスラムと人口移動
	石川 晃	将来の人口予測に関する研究から得られた今後の研究課題
第55回 2003年 6月	千年よしみ	アメリカにおける移民第二世代児童の貧困—ネイティブ児童との比較から—
	小島克久	地域別にみた所得格差
	加藤久和	非婚・離婚の動向
	佐藤龍三郎・板東里江子	先進諸国における出生力の最近の動向
	西岡八郎・大場 保・小林信彦ほか	人口移動統計からみた近年の移動性向
	西岡八郎・大場 保・小林信彦ほか	「都道府県別将来推計人口」からみた今後の地域人口について
	鈴木 透	出生力のコーホート・モデルとピリオド・モデル
	大場 保	都道府県人口移動表と年齢各歳別転入超過数（推定値）からみた都道府県間人口移動のあらまし
	清水昌人	釧路市における帰還移動—住民票データファイルの分析—
	小島 宏	イスラム諸国における血族結婚と出生力
岩澤美帆	同棲・婚外子：婚姻は廃れゆく制度か	
福田亘孝	個人主義化：自己実現欲求は人口再生産の妨げとなるか	
小山泰代	老親介護における有配偶女性の役割—別居介護に注目して—	
小島 宏	在日ムスリム人口の推計	
小松隆一ほか	日本の配偶関係別健康余命	
阿藤 誠	少子化と家族政策	
鈴木 透	低出生力分析の方法論的展開	
金子隆一	出生低下の人口学的メカニズム：標準化による出生数変動の構造分析	
石川 晃	わが国における人口高齢化の要因分析	
岩澤美帆	期間 TFR 変動における結婚行動および夫婦の出生行動の寄与	
佐藤龍三郎・白石紀子ほか	近年の日本の妊孕力に関する文献的検討	
加藤久和	マクロ経済の動向と結婚・出生行動	
大場 保	年齢各歳別都道府県別将来推計人口の開発	
小山泰代	近年の高齢者の世帯変動	
小島克久	高齢者の健康状態と所得格差	
金子隆一・三田房美	近年の結婚の動向：第12回出生動向調査から	
佐々井 司	夫婦出生の動向：第12回出生動向調査から	
守泉理恵	子ども数に関する意識：第12回出生動向調査から	
釜野さおり	未婚者のライフコース：第12回出生動向調査から	
岩澤美帆ほか	日本における婚姻率低下：結婚市場構造と配偶者選択選好の役割	

表IX-5 研究所在職者の日本人口学会大会報告での報告（つづき）

回次・年月	氏名	演題	
第56回 2004年 6月	小松隆一	若者性行動調査からみたジェンダー：ニカラグァ国グラナダ県の高 校生について	
	金子隆一	わが国コーホート出生力の動向とその要因	
	佐々井 司	地域間出生力格差に関する要因分析	
	鈴木 透	年齢別有配偶出生率について	
	守泉理恵	若年世代における子ども需要の変化：出生動向基本調査から	
	小島 宏	東南アジアにおけるイスラムと夫妻の就業行動：SWAFデータの比 較分析	
	大場 保	年齢各歳別死亡確率推定手法の改良と都道府県別生命表	
	府川哲夫	健康状態を入れた世帯の将来推計	
	小島克久	人口・世帯構造と所得格差	
	佐藤龍三郎	少子化社会におけるリプロダクティブヘルスの意義と課題：問題提起	
	岩澤美帆ほか	婚前妊娠と配偶者選択：新しい家族形成パターンの位置づけに向けて	
	千年よしみ	祖父母と孫の関係からみた世代間支援	
	清水昌人	東京都心地域における純移動率と年齢構造の変化	
	岩澤美帆	「より多く」から「より早く」：年齢シフト出生率の将来人口への影響	
第57回 2005年 6月	加藤久和	人口変動、経済成長及び社会保障財政の長期展望	
	大場 保	純移動率（県・性・各歳・時期別）とGDP成長率との関係（相関係 数・傾き・切片）	
	小池司朗ほか	人口減少はどこで生じているのか：小地域でみた人口変化	
	三田房美・岩澤美帆・池 ノ上正子	変わりゆく夫婦の出会いと近年の初婚率低	
	千年よしみ	祖父母による育児支援：夫婦関係から見た世代間関係	
	鈴木 透	韓国の極低出生力	
	小島克久	台湾における少子化と政策動向	
	小島 宏	東アジアにおける宗教と出生意識	
	佐々井 司	アジア低出生地域における少子化要因と人口政策	
	金子隆一	少子化過程の人口学的分析	
	岩澤美帆ほか	日本における同棲の現状	
	岩澤美帆ほか	日本は離婚が少ない社会か？離婚の趨勢と教育水準格差	
	石川 晃	国際人口移動が将来人口に及ぼす影響	
	石井 太	多地域人口モデルにおける人口モメンタムの分析	
佐藤龍三郎・白石紀子・ 坂東里江子	「1.57ショック」から15年：日本の出生力関連政策とその課題		
第58回 2006年 6月	鈴木 透	若年層の世帯・家族形成の動向	
	京極高宣	マルクスの人口論とマルサス批判	
	小池司朗	人口移動が出生に及ぼす影響について：「第5回人口移動調査」から	
	山内昌和	Child-Woman Ratio を応用した地域出生力指標の検討	
	菅 桂太	わが国出生行動の地域格差：パターンと要因	
	別府志海	有配偶女性の出生力と無子割合	
	佐藤龍三郎・白石紀子・ 坂東里江子	近年の日本における人工妊娠中絶の動向	
	石川 晃	人口動態統計指標の評価	
	石井 太	わが国の平均寿命の動向と死亡推計モデルの検討	
	清水昌人	市町村合併と都道府県内人口移動数の変化	
	小島 宏	台湾の「外国人花嫁」の家族形成行動：2000年国勢調査個票との比較 分析①	
	千年よしみ	静岡県 A 市の日系ブラジル人児童の就学状況：2000年国勢調査個票 との比較分析②	
	第59回 2007年 6月	別府志海	多相生命表による結婚のライフサイクルの分析：1930, 1955, 1980, 2005年
		石川 晃・佐々井 司	わが国における国際人口移動の変動要因に関する定量的分析
佐藤龍三郎・白石紀子・ 坂東里江子		開発途上地域の出生力の動向と政策課題	
岩澤美帆・三田房美		女性の健康と妊娠・出産	

表IX-5 研究所在職者の日本人口学会大会報告での報告（つづき）

回次・年月	氏名	演題
第60回 2008年 6月	小島克久	高齢者の世帯状態の分析—資産格差の視点から—
	鈴木 透	離家の動向：第5回世帯動態調査から
	小池司朗	GISを利用した戦前市区町村別人口動態の分析
	岩澤美帆ほか	日本における教育水準と離婚の関係
	守泉理恵	結婚・出産の機会費用とその経済的損失～マクロデータによる試算～
	石井 太	年齢シフト構造を持つ Lee-Carter モデルを用いたわが国の死亡率推計
	菅 桂太	わが国における40歳時無子の傾向と要因に関する考察—家族形成行動
	金子隆一	の観点から—
		出生力のライフコース変動と人口変動
	鈴木 透	韓国・台湾の低出生力
	佐々井 司	夫婦出生力の地域間格差
	清水昌人	市町村別のコーホート累積社会増加比—長野県の事例
	小池司朗	地域別将来人口推計の人口移動モデルに関する考察
	別府志海	先進国および開発途上国における寿命の動向
第61回 2009年 6月	小島克久	要介護高齢者の現状と将来動向—我が国と OECD 諸国との比較—
	京極高宣	マルサスの人口論とチェルヌイシェフスキーのマルサス批判
	佐藤龍三郎	日本の人口統計体系の整備のあり方に関する一考察
	岩澤美帆ほか	妊娠先行型結婚とその後の生活
	石川 晃	法律婚に基づく婚姻・離婚のコーホート分析
	山内昌和・西岡八郎・小池司朗	地方自治体の将来人口推計と人口関連施策への認識—アンケート調査の結果より—
	高橋重郷	低出生率と少子化対策の展開
	守泉理恵	少子化対策の動向
	鎌田健司	自治体担当者アンケートの分析結果
	小池司朗	地域別にみた社会増減と自然増減の関係
	鈴木 透	若者の就業と家族形成に何が起きているのか？—親子関係の視点から
	石川 晃	行政記録に基づく人口統計の現状と課題
	金子隆一・三田房美	高齢期における死亡年齢パターンの地域変異と時系列変化の分析
	別府志海	未婚者の就業行動と初婚行動の変化が有配偶人口に与える影響の分析
第62回 2010年 6月	清水昌人	高齢者の人口移動と世帯動態
	小島克久	要介護高齢者の費用負担の動向に関する考察
	鎌田健司・岩澤美帆	日本における近年の家族形成パターン ～地理・地域の視点からみた
		関連性～
	佐藤龍三郎	21世紀の世界の「人口・開発」問題について考える～「人口爆発」論と「人口衰退」論を超えて～
	高橋重郷	低出生率と子育て支援・働き方改革
	鎌田健司	自治体における少子化対策
	京極高宣	マルクスの人口の概念及び人口法則について
	小池司朗	地域別年齢別現在推計人口の補正可能性に関する一考察
	石川 晃	将来人口推計における国際人口移動仮定方法の検討
	石井 太	死亡率推計モデルにおける年齢変換アプローチの応用
	小島克久	高齢化の進展とインフォーマルケアに関する考察— OECD 諸国等の
		施策の動向—
	第63回 2011年 6月	鈴木 透
金子隆一		近年の日本人の結婚・出生行動の変化
別府志海		有配偶女性の就業形態の変化と出生力の人口学的分析
守泉理恵		出生意欲データを用いた出生率推計の試み
鎌田健司		地方自治体における少子化対策の政策過程—「次世代育成支援対策に
		関する自治体調査」を用いた政策出力タイミングの計量分析—
菅 桂太		離家とパートナーシップ形成タイミングの日米比較
佐藤龍三郎・白石紀子・別府志海		何が先進工業国を「超少子化」国と「緩少子化」国に分けているのか？：
歴史的文化的背景を探る		
守泉理恵・鎌田健司ほか		地方自治体の前期行動計画に関する自治体調査の結果概要
石井 太		対数死亡率曲面上の接ベクトル場を利用した死亡率モデルの検討

表IX-5 研究所在職者の日本人口学会大会報告での報告（つづき）

回次・年月	氏名	演題
第64回 2012年 6月	鎌田健司	東京都における待機児童の発生要因～市区町村別データを用いたパネル分析～
	金子隆一 佐々井 司・石川 晃 小池司朗	わが国近年の出生率変動とその要因に関する人口学的分析 近年における国際人口移動の動向と人口構造に及ぼす影響 鉄道の新規開業に伴う沿線人口の変化パターン—地域メッシュ統計を利用した分析—
	小島克久 今井博之	少子化社会に関する意識の日韓比較—社会的支援を中心に 国際結婚の夫婦の出生力—日本人男性と外国人女性との組み合わせの分析—
	別府志海 岩澤美帆ほか 鎌田健司 鈴木 透 菅 桂太 小池司朗 鎌田健司	有配偶女性における就業異動と出生力の人口学的分析：1982-2007年 意図しない出生の日米比較：教育水準別格差に着目して 地方自治体の行動計画に関する分析—GISを用いて— 直系家族世帯の動向 米国のパネル調査からみた世帯形成行動 過去データのデジタル化と人口の時空間分析 標本調査を用いた行政地図の作成—子育てに関する行動計画調査を例に—
	菅 桂太 岩澤美帆 鈴木 透 石井 太	第1子出生後の就業継続のコーホート比較 人口統計から見る2000年代の結婚・出生 2000年以後の韓国・台湾における結婚・出生 死亡率曲線の自由な方向への変化を表現する数理モデルとわが国の将来生命表への応用
	金子隆一ほか 金子能宏 泉田信行・菊池 潤ほか	ポスト人口転換期の日本：その定義・指標・含意 個人の子ども期の要因が家族関係と親子間の助け合いに及ぼす影響 日本における健康余命の実態と中高齢者の就労に対する影響に関する分析
	佐々井 司 岩澤美帆ほか 守泉理恵 清水昌人 小池司朗 鎌田健司ほか 石井 太・是川 夕ほか	近年における外国人人口の動向とその変動要因 日本における離婚と教育水準との関係 日本における出産先送り行動の要因分析 人口移動と進学率 廃線沿線における人口変化の分析—北海道を例として— 子育て関連施設の適正配置に関する研究 外国人受入れが将来人口を通じて社会保障に及ぼす影響に関する人口学的研究
	岩澤美帆 菅 桂太 是川 夕	1970年代以降の結婚変化：期間初婚表と個票データを用いた構造分析 シンガポールにおける出生力変動の生命表分析 日本における外国人の職業達成について：国勢調査マイクロデータを用いた分析
	小池司朗 山内昌和 林 玲子 佐々井 司	小地域を想定した将来人口推計モデル 人口学的要因からみた近年の地域別人口変化 人口移動の国際比較～モビリティの観点から わが国における国際人口移動の近年の動向～東日本大震災前後の変化について～
	中川雅貴・林 玲子	外国からの帰還（リターン）移動者の再適応過程：移動のパターンとタイミングによる分析
第66回 2014年 6月	貴志匡博 別府志海ほか 泉田信行ほか 貴志匡博 鎌田健司 岩澤美帆 菅 桂太 金子隆一 鎌田健司	人口移動調査における出生県への帰還移動—配偶関係に注目して— 日本の健康構造と健康寿命の動向 医療・介護レセプトの連結データによる健康寿命の算出 小地域統計の活用 GISを用いた施設の適正配置の考え方と適用例 結婚と出生—出産離れがもたらす未婚化— 就業と出生：JGGS2013の分析 人口統計学の視点から—少子化の構造と動向 ポスト人口転換期における地域の結婚・夫婦出生の動向と社会経済的指標との関連

表IX-5 研究所在職者の日本人口学会大会報告での報告（つづき）

回次・年月	氏名	演題
	山内昌和 小池司朗 中川雅貴	ポスト人口転換期における日本の地域人口の変化 地域別の高齢化とその人口学的要因 地域人口の流動性および凝集性と高齢者の健康格差：マルチレベル分析による検証
	石井 太 是川 夕 岩澤美帆ほか 林 玲子 福田節也 今井博之 金子隆一ほか 鈴木 透 別府志海ほか 金子能宏	日本版死亡データベース（JMD）の開発と人口分析への応用 外国人女性の流入によるわが国のジェンダー関係の変容について 日本における再婚過程 地球規模課題としての国際人口移動 夫の家事・育児参加と第2子出生 出生促進政策に至る人口問題の認識—1940年頃の日本の事例— 医療コストと平均余命等価年齢を考慮した調整人口構造指数の提案 日本の世帯数の将来推計（全国推計）に関わる諸問題 疾病別にみた健康寿命の動向 自殺死亡の高齢化要因・社会経済要因と余命に及ぼす影響

表IX-6 『人口学研究』への執筆（論文・研究ノートのみ）

号	年月	種類	執筆者名	題目
13	1990年5月 1990年5月	論文 論文	河野稠果 Hiroshi KOJIMA	人口高齢化時代の子供と老人 Coresidence of Young Adults with Their Parents in Japan: Do Sib Size and Birth Order Matter?
15	1992年5月	研究ノート	坂井博通	きょうだい構成が結婚年齢に及ぼす影響
16	1992年5月	研究ノート	鈴木透	結婚連鎖のグラフ：廣嶋モデルの数学的基礎
21	1993年5月 1997年11月	論文 研究ノート	廣嶋清志 小島克久	若年有配偶男子の世帯形成動向：過去と将来 我が国の世帯構造の地域差—都道府県別データを用いた分析：1985年—1995年
29	2001年12月	研究ノート	小島克久	高齢者の所得格差
30	2002年5月	研究ノート	清水昌人	入居時期および5年前常住地のデータからみた人口移動者数とその比較
31	2002年11月	論文	鈴木透	出生力のコーホート・モデルとピリオド・モデル
32	2003年5月	研究ノート	小池司朗	GISの歴史的人口分布研究への適用可能性
33	2003年11月	研究ノート	小島克久	高齢者の健康状態と所得格差
36	2005年5月	論文	府川哲夫	INAHSHIMを用いた世帯の将来推計（2004）
38	2006年5月	論文	石井太	多地域人口モデルにおける人口モメンタムの分析
38	2006年5月	研究ノート	山内昌和	Child-Woman Ratioを応用した地域出生力指標の検討—夫婦出生力指標を中心に—
41	2007年11月	研究ノート	菅桂太	近年の「国勢調査」日本人人口の精度に関する一考察
42	2008年5月	研究ノート	菅桂太	わが国における40歳時無子の傾向と要因に関する考察—家族形成行動の観点から
43	2008年11月	論文	石井太	人口変動要因が将来推計人口の年齢構造に与える影響：老年従属人口指数を中心として
44	2009年5月	研究ノート	清水昌人	市町村別のコーホート累積社会増加比—長野県の事例—
44	2009年5月	研究ノート	佐藤龍三郎・白石紀子	学界展望・消息青年層と成人期移行をめぐる人口学研究の展望
45	2009年11月	論文	鎌田健司・岩澤美帆	出生力の地域格差の要因分析：非定常性を考慮した地理的加重回帰法による検証
45	2009年11月	研究ノート	山内昌和	Child-Woman Ratioを利用したTFRの新たな推定モデル

表IX-7 日本人口学会賞の受賞者及び対象業績

回 (年 度)	賞	受賞者	対象業績
第5回(1996年)	学会特別賞	伊藤達也	『生活の中の人口学』
第8回(2002年)	学会賞	加藤久和	『人口経済学入門』
〃	優秀論文賞	金子隆一	「人口統計学の展開」『日本統計学会誌』
〃	普及奨励賞	阿藤誠	『現代人口学』
第13回(2012年)	優秀論文賞	鎌田健司・岩澤美帆	「出生力の地域格差の要因分析：非正常性を考慮した地理的加重回帰法による検証」『人口学研究』
〃	優秀論文賞	福田節也	"Leaving the Parental Home in Post-war Japan: Demographic Changes, Stem-family Norms and the Transition to Adulthood," Demographic Research (Max Planck Institute for Demographic Research)
第14回(2014年)	優秀論文賞	小池司朗	「地域メッシュ統計の区画変遷に伴う時系列分析の可能性に関する一考察一測地系間・メッシュ階層間の比較から一」『人口問題研究』

2. 国際人口学会

国際人口学会 (International Union for the Scientific Study of Population) は、1969年のロンドン大会以後は4年ごとに大会 (General Population Conference または International Population Conference) を開催している。1989～2014年の25年間には、第21回ニューデリー大会から第27回釜山大会まで、7回の大会が開催され、いずれの大会にも研究所職員が参加した (表IX-8)。また国際人口学会の研究委員会や地域部会のような下部組織が開催するセミナーへも参加している (表IX-9)。近年大会への参加が増えているのは、国際連携への関心と資質の向上に加え、獲得する科研費の増加や外国旅費に関する規制の緩和など、予算をめぐる状況の変化もかかわっていると考えられる。

表IX-8 国際人口学会 (International Union for Scientific Study of Population) への参加

開催地・年月	氏名	活動	論文題名・部会名等 ¹⁾
ニューデリー 1989年9月	河野綱果 廣嶋清志	座長 報告	メガシティ：動向、問題点、政策 低出生率は核家族化を促進するか？ 低出生力国における親族の アヴェイラビリティ
モントリオール 1993年8～9月	河野綱果 廣嶋清志 稲葉寿	組織者 報告 報告	人口高齢化の社会的・経済的・人口学的帰結 アフリカ諸国におけるマスメディアの避妊と出生率に対する影響 反復的結婚によるヒト個体群の生殖に関する数学的モデル
北京 1997年10月	小島宏 鈴木透	報告 報告	アジア諸国における人口・健康行動の環境要因 多相モデルによる世帯数の将来推計—日本を例として
サルヴァドール 2001年8月	鈴木透	ポスター	両性比例ハザードモデルによる結婚市場の分析
トゥール 2005年7月	小島宏 〃 佐藤龍三郎 金子隆一 岩澤美帆 〃	報告 ポスター 報告 ポスター 報告 ポスター	日本人管理職のUターン移動と健康 日本・韓国・台湾における子どもに対する態度の決定因 日本における避妊と中絶：先進国における独自性 1866～1951年マドラス人口の一般化逆進推計：整合性の検討 日本における結婚解消一近年の動向とパターン 日本の同棲

マラケシュ 2009年9～10月	佐藤龍三郎	ポスター	日本の低出生力と政策対応：最近20年間の概観	
	金子隆一	ポスター	日本における出生率低下の終焉？2005年以後の再上昇の地域分析	
	鈴木透	ポスター	東アジア低出生力国の人口政策	
	岩澤美帆	報告	日本におけるひとり親世帯の親子関係：居住状態の影響	
	〃	ポスター	日本における出生率低下の終焉？2005年以後の再上昇の地域分析	
	暮石涉	報告	夫妻の親間の戦略的贈与の交互作用	
	鎌田健司	ポスター	日本における出生率低下の終焉？2005年以後の再上昇の地域分析	
	釜山 2013年8月	金子隆一	報告	日本のポスト人口転換期：新人口レジームへの社会変動
		〃	報告	出生順位別コーホート出生率の予測方法の比較—日本の例
		〃	報告	日本における予定子ども数の実現
鈴木透		報告	日本の低出生力と政策対応	
林玲子		ポスター	サハラ以南アフリカにおける言語別移動格差	
石井太		報告	モデルを用いたヨーロッパ諸国の死亡動向の解釈と将来推計	
岩澤美帆		報告	出生順位別コーホート出生率の予測方法の比較—日本の例	
〃		ポスター	2005～10年の日本における出生力決定因の空間的パターン：小地域推計値の地理的加重回帰	
守泉理恵		報告	日本における予定子ども数の実現	
菅桂太		報告	1980～2010年のシンガポールにおける初婚と結婚出生力の効果：生命表分析	
福田節也	報告	日本における予定子ども数の実現		
〃	報告	アジアにおける仏教と出生		
鎌田健司	報告	出生順位別コーホート出生率の予測方法の比較—日本の例		
〃	ポスター	2005～10年の日本における出生力決定因の空間的パターン：小地域推計値の地理的加重回帰		
中川雅貴	報告	日本の都市高齢者における所得格差、社会資本と健康状態		

1) 論文名などは英文

表IX-9 国際人口学会各種セミナーへの参加

セミナー名	開催地(年月)	氏名	活動	論文題名・部会名等 ¹⁾
先進国の性差と家族の変動に関するセミナー	ローマ (1992年1月)	廣嶋清志	報告	ジェンダー変動による結婚世帯の解体と新しい居住状態
先進国における前期成人死亡の人口学に関するセミナー	タオルミーナ (1992年6月)	河野稠果	座長	死亡率格差の疫学的解釈
高齢化人口における死亡と疾病の趨勢に関する国際会議	仙台(1993年6月)	高橋重郷	報告	日本における高齢者の加齢と健康
男性の視点から見た生殖と家族形成に関するセミナー	ブエノスアイレス (1998年5月)	西岡八郎	報告	夫の家事参加と生殖行動—日本の場合
少子化に関する国際的視座：動向・理論・政策	東京(2001年3月)	高橋重郷	報告	日本の出生力低下過程の人口学的分析
〃	〃	小島宏	報告	日本における低出生率と家族政策に対する態度
〃	〃	岩澤美帆	報告	日本におけるパートナーシップ転換：無子非同居カップルの増加
〃	〃	阿藤誠	報告	アジアの第二人口転換：西ヨーロッパとの共通性と異質性
変動するアジアの脈絡における東南アジア人口	バンコク (2002年6月)	小島宏	ポスター	東南アジアにおける持続可能な都市化、女性の地位と宗教

1) 論文名などはすべて英文

(鈴木 透)